

平成29年度 施策評価シート

[施策No.] 施策名		[12] 地域のネットワーク化推進			主管	文化産業観光部 観光課
施策の概要	長期総合計画体系	[将来像] I にぎわいと活力のまち [基本目標] I-2. まちの魅力の創出 [小柱] (2)地域のネットワーク化と回遊性の向上				
	10年後のめざす姿	<ul style="list-style-type: none"> ● 陸上及び水上にまたがる広域的な交通ネットワークの構築により、観光客が区内外の観光拠点へ容易にアクセスできる環境が整備されています。 ● 隅田川の水辺空間が観光スポットとして注目され、水辺のにぎわいが創出されています。 				
	主な取り組み	① 循環バス新路線の開業	⑥			
		② 交通ネットワークの充実	⑦			
		③ 水上交通の活性化	⑧			
		④ 水辺空間を活用したにぎわいの創出	⑨			
⑤		⑩				
* 施策を構成する行政計画事業の進捗は、裏面「行政計画事業」を参照。						
施策の執行状況	施策の指標	指標名	計画策定時 (26年度末)	目標 (36年度末)	27年度	28年度
		循環バス乗降客数	年136万人	年180万人	年1,411,913人	年1,778,226人
		船着場利用回数	年3,000回	増加	年3,166回	年3,331回
評価結果	A A 順調である B 一部課題がある C 課題がある	(施策の指標の実績、構成する行政計画事業の進捗・成果・課題等を踏まえて評価)				
		<p>施策の指標である循環バス乗降客数は、平成28年1月に新路線「ぐるーりめぐりん」を開業し、目標である年180万人に向けて順調に増加している。区北部地域と南部地域における双方向性が確保され、地域の交通ネットワークが充実し、区民及び来街者の利便性は着実に向上している。また、平成28年6月にはめぐりん利用者アンケートを実施し、さらなる向上のため、利用者ニーズの把握に努めた。</p> <p>平成28年6月より浅草二天門防災船着場を公共船着場として一般開放しており、浅草への交通手段の1つとしての舟運が活性化し、回遊性が向上している。</p> <p>隅田川親水テラスでは、平成25年10月に隅田公園内に設置したオープンカフェ(2店舗)について、来街者の認知が徐々に高まりにぎわいを創出している。</p>				
学識経験者からの意見		<p>循環バスや防災船着場の活用などによって、回遊性と観光拠点へのアクセスが改善されたことは評価できる。特に、循環バスは3路線に加えて新路線である「ぐるーりめぐりん」を運行させており、区民だけでなく観光客にとっても移手段として利便性が高まったと評価できる。</p> <p>船着場の利用回数は目標を達成しているものの、新規舟運事業者の利用拡大や、イベント等との連動による多様な利用を進めるべきであろう。循環バスも文化体験型観光メニューや回遊型観光コースの案内に加えるなど、観光客に利用しやすいような工夫が必要であろう。</p>				

施策を構成する行政計画事業の進捗										
	(事業No.) 行政計画事業名	所管課	現況 (26年度末)	計画事業量	年度別 事業計画	27年度	28年度	29年度 (見込み)		
1	(41)船着場の活用	道路管理課	旅客船の運航 運航	運航	目標	運航	運航	運航		
					実績	運航	運航	運航		
							目標			
							実績			
							目標			
							実績			
2	(69)循環バス新路線の 開業 <再掲>	交通対策課	—	新路線 開業・運行	目標	開業	運行	運行		
					実績	開業	運行	運行		
							目標			
							実績			
							目標			
							実績			
3					目標					
					実績					
					目標					
					実績					
					目標					
					実績					
4					目標					
					実績					
					目標					
					実績					
					目標					
					実績					